

**平成 29 年度岡山市市民協働推進モデル事業
最終評価表**

実施団体	中国デザイン専門学校		
協働部署	庭園都市推進課		
記入日	H30 年 3 月 23 日		

1. 事業の目標と結果

事業の目標 事業提案書に記載された「期待する事業成果・目標値等」 または事業を通じて意識されていた目標を一枠に一項目 ずつご記入ください。	目標に対する結果 「成果・目標値等」に対する結果をご記入ください。	結果の自己分析 「目標に対する結果」に至った要因や工夫されたこと、うまく いかなかったことなどをご記入ください。
トイレ整備: 1か所	<ul style="list-style-type: none"> ・以下3つの条件を満たした南方公園での整備を行った。 ①整備場所まで実施団体が移動し易い距離 ②町内会の理解 ③壁画作成に対応できる広さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・南方公園での芸術活動に至るまでは、提案団体と協働課の役割分担によりスムーズに許可を得ることができた。 ・地域の学校からワークショップ・報告会の会場提供、町内会からは壁画の作成アイデアなど多様な主体が整備に関わることができた。 ・公共施設使用に至るまでの事務的なノウハウを得ることができた
利用者の満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会で意見交換やヒアリングを通して活動前後の満足度を図ったがアンケートなどの数値による満足度は確認できなかった。 ・参加者からは活動を通して地域への愛着や活動の継続を求めることで地域活性への促進につながった 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設使用申請の時間配分が不十分だったため芸術活動が当初の予定より遅れ、アンケート収集の時間の確保が難しくなった
プロモーションイベント・報告会	<p>プロモーション: 新聞社 2 社 報告会: 21 名参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会はモデル事業に関わった方を対象に意見交換会も開催した。対象を絞ることでテーマに対してそれぞれが深く話しをすることができた。

他地域での公共インフラ整備の波及	<ul style="list-style-type: none"> ・南方公園が落書き等の被害に合わないよう見守り、一定期間被害がなければ他地域への活動も検討する ・平成 32 年 3 月末まで南方公園のトイレの内壁と天井については中国デザイン専門学校に無償貸与されており、引続き必要な手続きを踏みながら芸術活動を通して地域活性の促進を図っていく 	
------------------	--	--

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック(できたものに☑)	指標(※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	☑	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化した
	☑	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たした
	☑	③ 実施団体のミッションを理解していた(協働部署が回答)
	☑	④ 岡山市(協働部署)の方針や計画を理解していた(実施団体が回答)
	☑	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われていた
目的共有の原則	☑	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握していた
	☑	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されていた
	☑	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有していた
	☑	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有していた
	☑	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有していた
対等の原則	☑	① 双方の合意によって役割分担が図られていた
	☑	② 実施団体の意思・意見が尊重されていた(実施団体が回答)
	☑	③ 協働部署の意思・意見が尊重されていた(協働部署が回答)
	☑	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していなかった(実施団体が回答)
	☑	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していなかった(協働部署が回答)
自主性及び自立性尊重の原則	☑	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしていた
	☑	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されなかった(協働部署が回答)
	☑	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されなかった(実施団体が回答)
	☑	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されなかった(協働部署が回答)

	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されなかった(実施団体が回答)
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいた
	<input type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されていた